

化学療法未治療の根治切除不能な進行・再発の食道癌
 オプジーボ+シスプラチン+5-FU併用療法 患者プロトコール

催吐リスク
高度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース:28日間 オプジーボ:最長2年間、シスプラチン・5FU:制限無し 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1,2,3,4,5	—	
①	オプジーボ: 480mg/body	mg	Day1	30分	
	生食 100mL				
フラッシュ	ルートキープ用生食でフラッシュする。				
プレメディ	硫酸マグネシウム8mEq+生食100mL		day1	30分	シスプラチン投与前後に1000-2000mLの輸液を投与し、尿量確保に注意する
	NK1-R拮抗薬(内服または注射)		day1~	30分前	
	5HT3-R拮抗薬+デキサメタゾン+生食100mL		day1	30分	
	デキサメタゾン+生食100mL		Day2,3,4,5	30分	
②	シスプラチン: 80mg/m ²	mg	Day1	2時間	
	テルモ生食 300mL				
③	5-FU: 800mg/m ²	mg	Day1,2,3,4,5	24時間	必要に応じて、利尿剤を投与する。
	5%ブドウ糖 500mL				
ハイドレーション	輸液(ソリアセトD等)		day1~	—	
◆オプジーボ投与時の総液量は、体重30kg以上の患者では総液量を150mL以下とする。 ※体重30kg未満の患者では、総液量を100mL以下とするため、生食50mL(生食100mLボトル)に希釈する。					

佐賀大学医学部附属病院